令和５年度　校内研究計画

甲州市立玉宮小学校

１　学校課題

玉宮地区は，平沢のザゼンソウやカタクリ，竹森川のホタルやヤマメ，また水晶など特有の自然に恵まれている地域である。また，神社・寺・道祖神などの史跡が多く，古い言い伝えなどの文化が残っている地域でもある。地域の方々は，講師として児童の学習指導に積極的に携わっていただき，学校教育に対する関心が高い。

本校の児童は，みんな明るく素直で，意欲的に学校生活を送っている。全校児童が２４人と小規模校であるが，児童会を中心とするさまざまな活動を通して，学年の枠をこえての交流が多く，上級生が下級生の面倒をよく見たり，休み時間や放課後にも異学年で仲良く遊んだりする姿が見られる。また，児童会行事等ですべての児童の活躍の場がある，児童の実態を把握し一人一人に合った学習指導が可能である等，小規模校の利点が挙げられる。その一方で，日々の学校生活の中で，様々な考えや価値観に出会い，社会性や協調性，コミュニケーション能力を伸ばす機会が限られてくる，という課題が挙げられる。

２　研究主題

「個を高める　確かな学力の育成」

～　個別最適な学びの実現を目指して　～

３　主題設定の理由

これからの社会は，Society5.0の実現に向けて，社会の構造が劇的に変化し，必要とされる知識も急激に変化し続けることが想定されている。このような中，学校教育では，変化を前向きに受け止め，豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手として，予測不可能な未来社会を自律的に生き，社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成することが望まれている。

中央教育審議会答申（令和３年１月）では，2020年代を通じて実現を目指す学校教育を「令和の日本型学校教育」とし，その姿を「すべての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現」と定義している。学習指導要領において示された資質・能力の育成を着実に進めることが重要であり，そのためには新たに学校における基盤的なツールとなるICTを最大限活用しながら，多様な子供たちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と子供たちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実が図られることが求められている。

本校では，令和２年度より，研究主題を「個を高める確かな学力の育成～ICTを活用した授業づくり～」とし，研究を進めてきた。１人１台端末をどのように授業に組み込むのか，どんな授業に活用できるのか，どんな場面で児童に操作させるのか等，実践報告及び一人一実践の授業公開を行うことで，教員のICT活用スキルアップにつなげることができた。

今年度の研究では，これまでの研究を継続しつつ，教師が「指導の個別化」「学習の個性化」を図り，児童がICTを活用してどのように学び，教科の目標を達成していくかの過程に注目し，研究を進めていきたい。一律に同じ学習環境を与えるのではなく，すべての児童が自分に合った方法で目標を達成できるように指導を行ったり，自分の興味関心にあった学習を行うことができる場を設定したりすることで，「主体的・対話的で深い学び」へとつなげ，各教科の資質・能力を確実に育成していきたい。

４　研究の具体的内容と方法

1. 個別最適な学びの実現に向けた授業づくり（ICTの効果的な活用）

・学習会（指導主事招聘，甲州市ティーチャーズノートの活用，情報交換会）

・一人一実践授業及び振り返り

・児童のICT活用スキルの向上に向けた取組

（２）学びの基盤となる親和的な学習集団づくり

　　・WEBQUの分析と対策（年２回WEBQUの実施，全職員によるWEBQUの分析と対策）

・人間関係の向上を目指した取り組み（構成的エンカウンター，ソーシャルスキルトレーニング）

・学習規律の確立（「玉宮小学習スタンダード」の定着）

（３）家庭と連携した取り組み

　　・家庭学習の充実（自主学習ノートの掲示，自主学習メニューの提示，スタンバイの取り組み等）

・望ましい生活習慣に向けた取組（情報モラル教育，生活時間コントロール）

【その他の取り組み】

・教育課程研修還流報告会

・全国学力・学習状況調査の分析と対策

　　・ＣＲＴ検査の分析と対策

５　年間校内研修計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| № | 月　　日 | 研　究　内　容 | 担　当 | T‣C要請 |
| １ | ４／１９（水） | ・昨年度の研究について・今年度の研究について | 研究主任 |  |
| ２ | ４／２６（水） | ・今年度の研究について・玉宮小学習スタンダードについて | 研究主任 |  |
| ３ | ５／２４（水） | ・授業づくりに向けた学習会 | 研究主任 |  |
| ４ | ５／３１（水） | ・WEBQUの分析と対策 | 研究主任 |  |
| ５ | ６／２８（水） | ・授業づくりに向けた学習会 | 研究主任 | 〇 |
| ６ | ７／　５（水） | ・個別最適な学びの実現に向けた授業づくり | 研究主任 |  |
| ７ | ７／１９（水） | ・授業づくりに向けた学習会（情報交換会） | 研究主任 |  |
| ８ | ９／　６（水） | ・教育課程還流報告会 | 教務主任 |  |
| ９ | ９／１３（水） | ・全国学力学習状況調査の分析と対策 | 教務主任 |  |
| 10 | １０／　４（水） | ・個別最適な学びの実現に向けた授業づくり | 研究主任 |  |
| 11 | １０／２０（金） | ・WEBQUの分析と対策 | 研究主任 |  |
| 12 | １１／　１（水） | ・一人一実践授業ふりかえり | 研究主任 |  |
| 13 | １１／　８（水） | ・個別最適な学びの実現に向けた授業づくり | 研究主任 |  |
| 14 | １１／２９（水） | ・一人一実践授業ふりかえり | 研究主任 |  |
| 15 | １２／　６（水） | ・一人一実践授業ふりかえり　 | 研究主任 |  |
| 16 | １２／１３（水） | ・授業づくりに向けた学習会 | 研究主任 | 〇 |
| 17 | １／３１（水） | ・今年度の研究のまとめ | 研究主任 |  |
| 18 | ２／　７（水） | ・CRT検査の分析と対策 | 研究主任 |  |
| 19 | ２／２１（水） | ・研究紀要作成（校正） | 研究主任 |  |
| 20 | ３／１３（水） | ・次年度の研究に向けて | 研究主任 |  |

（研究主任　青木　恵）